

『大江山』

大江山 いく野の道の 遠ければ まだふみもみず 天の橋立

小式部内侍

[現代訳]

大江山を越えて生野を通って丹後へ向かう道は遠すぎるので、いまだ天橋立に行ったこともなければ、(丹後の国にいる) 母からの手紙も見ていません。

作者は小式部内侍

15歳の時 中宮彰子よりはじめて歌合わせの作者に抜擢されました。藤原定頼(あさぼらけ宇治の作者)に歌合せの歌は出来たのか? お母さんの所へ使いは出したか?とからかわれました。

そのことについてのこの歌をつくり返しました。

小式部内侍は山陽小野田市とも縁があり母、和泉式部は埴生の地で小式部内侍を生まれました。丘の上にある松原で生まれたので愛寝の松原(糸根地区公園)として現代に伝えられています。

山陽小野田かるた協会 小田広行